





| 2023年10~12月 | 製造業/建設業向け 特集企画のご案内

- ■ピックアップテーマ
- (1)工場セキュリティ最前線
- (2)IoT時代の製品開発
- (3)製造現場で作れるデジタルアプリ開発
- (4)製造現場のモバイル活用
- (5)オープンなロボット開発を支える エコシステム
- (6)製造業の倉庫・搬送のDX戦略
- (7)ビル・施設管理のDX
- (8)業務効率化ツールで実現する建設現場DX

■読者調査企画

- (9)設計・製造現場における品質管理
- (10)製造現場におけるデータ活用の実 態調査 2023
- (11)設計者CAEの実情調査
- (12) 3Dプリンタ利用動向調査 2023
- (13) 「設計・解析業務におけるAI活用」 に関する実態調査

ピックアップテーマ

- (1)工場セキュリティ最前線
- (2)IoT時代の製品開発
- (3)製造現場で作れるデジタルアプリ開発
- (4)製造現場のモバイル活用
- (5)オープンなロボット開発を支えるエコシステム
- (6)製造業の倉庫・搬送のDX戦略
- (7)ビル・施設管理のDX
- (8)業務効率化ツールで実現する建設現場DX

ピックアップテーマとは

MONOist編集部が注目するテーマや、最新のトピックを特集テーマとして取り上げ、編集記事やコンテンツを集約した企画特集ページを開設いたします





メディア上からのバナー広告枠を利用し、本特集への 誘導をかけます。MONOist/EE Times Japan/EDN Japanのトップページ・記事ページから誘導をかける ことにより、情報収集に熱心な読者にアプローチする ことができます。



認知向上も同時に 企画特

テーマについての編集部による解説や、関連する編集記事を掲載した特集ページを開設。特集ページには貴社ロゴを掲載いたします。また、メルマガ内で特集の告知いたします。



コンテンツ制作付きお得なプラン

本特集ならではの費用対効果を見込めるお得なプランを用意しております。PRする絶好の場として、本特集をご活用いただけますと幸いです。

特集ページ構成



特集テーマ

タイアップ記事広告 誘導枠

製造業の事例、最新動向を長年発信してきた編集記者が、貴社製品・ソリューション についてのタイアップ記事を作成し、特集ページのトップに掲載いたします

ご協賛社様コンテンツ 誘導枠

特設PR枠を設置いたします。貴社製品・ソリューションに関するホワイトペーパーやウェビナー、デモ/技術解説動画などを掲載いただけます

テーマに関連した記事を集約

MONOistに掲載の最新事例などを紹介した記事を掲載します

(例) 【掲載予定 記事】

- 新入社員が知っておくべき「製造業DX」の基本用語まとめ
- いま一度確認しておきたい、製造業DXで「結局何ができるのか」?

企画展開 特集ページをメディア上で展開 リード獲得+認知向上施策も同時に実施

対象メディア TOP/記事ページから誘導





モノづくりを支援する専門メディア **332万 PV/月 121万 UB/月**

企画特集ページを新設





専門メルマガの ヘッダー枠で特集ページを告知

貴社コンテンツ 直接オファー





貴社コンテンツを直接オファー



リードジェンサービスプラット フォーム **会員約25万人**

(1)工場セキュリティ最前線~製造業のサイバー攻撃対策は「ゼロトラスト」へ~

サイバー攻撃を受けるのはITシステムで、工場などのOT(制御技術)の世界は無関係――。そんな常識は過去のものとなり、大手自動車メーカーがランサムウェアの被害に遭い、工場の操業を一時停止せざるを得ない状態になった事例が示す通り、続発するサイバー攻撃から工場をどう守るかは製造業にとって喫緊の課題です。

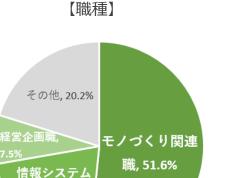
本特集では、調達から製造、出荷に至るまでのプロセスでセキュリティを担保しながら、安定した稼働を維持していくことに必要不可欠な工場セキュリティの最前線にフォーカスします。製造業のモノづくりに関わる読者・会員に向けて貴社の製品/ソリューション/ツール/サービスの絶好のPRの場としてご活用いただけますと幸いです。

キーワード

産業用ファイヤーウォール、産業用侵入制御システム、エンドポイント保護、セキュリティ検査 ツール、ゼロトラスト、ネットワークセグメンテーション、IEC62443、NIST SP 800-171、経済 産業省「工場セキュリティガイドライン」、自動車産業サイバーセキュリティガイドライン など

(1) セキュリティテーマでの実績

■TechFactoryでのリード納品実績



導入に関わる職種が約80%以上

【役職】

課長職以上が約50%

【社名上位】

会社名 オムロン株式会社 三菱電機株式会社 富士電機株式会社 パナソニック株式会社 ルネサスエレクトロニクス株式会社 オリンパス株式会社 株式会社村田製作所 京セラ株式会社

株式会社日立製作所

キヤノン株式会社

掲載実績

関連職, 20.7%

トレンドマイクロ株式会社、日本電気株式会社、テクマトリックス株式会社、タレスDIS CPLジャパン株式会社、株式会社日立ソリューションズ、キヤノンITソリューションズ株式会社、ネットワンシステムズ株式会社

(2) IoT時代の製品開発~製品進化の鍵は組み込み開発の「クラウドネイティブ化」にあり~

IoT(モノのインターネット)は、より身近なワードとなり普及し、PCやスマホ以外にも、 みなさんが普段使用する多くの製品がインターネットにつながるようになりました。

従来の製品のソフトウェア開発は、製品出荷以降にソフトウェアを変更しないことが当たり前でした。しかし、インターネットとつながるいわゆるIoT製品ではソフトウェアをアップデートすることが可能になり、機能追加などによって新たな付加価値も提供できます。そのために、WebアプリケーションやITシステムの開発で広く用いられている、コンテナやCI/CDに代表される「クラウドネイティブ」の活用が求められているのです。

本特集ではIoT時代の製品開発者に求められる「クラウドネイティブな組み込み開発」の考え方と手法を、組み込み開発分野で活用するためのヒントをお届けします。貴社の商品/ソリューション/ツール/サービスのPRの場としてご活用いただけますと幸いです。

キーワード

CI/CD、コンテナ、コード管理、ソフトウェアテスト、障害対応、組み込みLinux、クラウドネイティブ、ROS、SBOM、Kubernetes 等

(2) クラウド環境の開発ツールでの実績

製造業の研究・開発職のリードを多数獲得

【TechFactoryでのリード納品実績】

製造業 79.8%

産業用・事務用機器: 24.7% 自動車・輸送用機器: 15.2%

電気機器: 12.4%

電子部品・デバイス・電子回路: 11.2%



開発: 36.5% 組み込みソフトウェア開発: 16.9%

研究:5.6%

•

会社名(一部抜粋)

株式会社日立製作所

ヤマハ発動機株式会社

三菱電機株式会社

スズキ株式会社

株式会社本田技術研究所

三菱重工業株式会社

カシオ計算機株式会社

日本精工株式会社

AGC株式会社

株式会社安川電機

スポンサープラン (1) 工場セキュリティ最前線 (2) IoT時代の製品開発

ご提供内容	プラチナ	ゴールド	シルバー	
オンラインリード獲得 ・オンラインリード獲得 ・属性はセグメントなし	320件保証	180件保証 100件保証		
コンテンツ				
タイアップ制作	1本	_	_	
ホワイトペーパー制作	_	1本	_	
ホワイトペーパーご支給 ※お手持ちのコンテンツをご用意ください	2本 1本		2本	
スポンサー料金 (税別、グロス)	¥2,800,000 (120万円OFF)	¥1,500,000 (60万円OFF)	¥900,000 (20万円OFF)	

■お申込み締切

プラチナ/ゴールドプラン:2023年9月6日(水)

シルバープラン:2023年9月29日(金)

- ※ ホワイトペーパーをお持ちでない場合、別途費用が発生しますが制作プランがありますので、担当営業までご相談ください。
- ※ プランのカスタマイズも可能です。担当営業までご相談ください。
- ※ 企画開始後のご協賛も可能ですが、開始時期によりご提供できないメニューがある場合がございます。

(3)製造現場で作れるデジタルアプリ開発〜紙・EXCEL文化から脱却する方法を探る〜

デジタルトランスフォーメーション(DX)があらゆるな産業で進んでいます。しかし、製造現場などに目を向けるといまだに多くの作業が紙など属人的なアナログ手法で残されているのが現実です。また、工程管理や在庫管理などの進捗管理をEXCELで行うなど、デジタル化されているとはいえ、データを他部門で汎用的に使えるような体制になっていないケースも散見されます。紙やEXCELに付随する業務は、ミスや転記などの重複作業、タイムラグ、現地に行く必要がある点など多大な無駄を生む出す要因になっています。

そんな状況下の製造業で、今、注目を集めているのが、プログラミングの知識がなくても簡易なGUIなどによりアプリ開発ができるノーコード/ローコード開発環境です。現場の担当者自身が、現場のニーズに合わせて業務課題を解決するアプリを開発し、紙・EXCELベースの業務のデジタル化なども進められるようになります。

本特集では、紙・EXCEL業務が多く残り、デジタル人材の不足に課題を抱える製造現場で、誰でも気軽にデジタル化に取り組めるアプリ開発ツール、支援ツールにフォーカスします。製造業のモノづくりに関わる読者・会員に向けて貴社の製品/ソリューション/ツール/サービスの絶好のPRの場としてご活用いただけますと幸いです。

キーワード

ノーコード/ローコード開発ツール、ジェネレーティブAI、BIツール、プロジェクト管理ツール、ドキュメント管理ツール、等

(3) ノーコード・ローコード開発ツールでの実績

製造業の開発職、生産技術・生産管理・品質管理職などのリードを多数獲得

【TechFactoryでのリード納品実績】

製造業 70.9%

産業用・事務用機器:12.7%

電気機器:12.7%

その他の製造業:10.9%

自動車・輸送用機器:8.2%

ものづくり 関連職 51.8%

開発・研究:26.3%

製造・生産技術: 10.0%

生産管理・工程管理・品質管理: 6.4%

会社名(一部抜粋)

トヨタ自動車株式会社

TOTO株式会社

三菱電機株式会社

株式会社SUBARU

オムロン株式会社

コニカミノルタ株式会社

株式会社村田製作所

川崎重工業株式会社

三井化学株式会社

ダイキン工業株式会社

(4)製造現場のモバイル活用

製造業では人手不足や高齢化が喫緊の課題となっています。生産性の向上は急務となり、製造現場においてもIoTなどのデジタル技術の活用により、生産性を向上する取り組みが増えています。

今、とりわけ注目を集めているのが、製造現場でのモバイル端末の活用です。モバイル端末を作業者が持ち、デジタルツールや、モバイルアプリを活用することで、設備の管理や、図面などの情報をデジタルで手軽に共有することができます。また、現場での作業実績やコミュニケーションを見える化でき、カメラ機能などを活用し、リアルタイムでの情報の伝達も可能になります。特に人手による入力作業をモバイル端末により簡略化できることが現場の作業負荷軽減や教育コスト削減につながるため注目されています。

一方で、製造現場での導入が増えてきたことにより、セキュリティ対策や効率的なモバイル端末の資産管理など新たな課題も出てきています。

本特集では、製造現場の生産性向上に期待が集まっている製造現場のモバイル活用に焦点を当てます。製造業のモノづくりに携わる読者へ向けて、活用事例・効果などを紹介します。貴社のソリューション/ツール/サービスのPRの場としてご活用いただけますと幸いです。

キーワード

モバイル端末、モバイルアプリ、アセットマネジメント、ハンディターミナル、スマートグラス、セキュリティ対策ツール 等

(5) オープンなロボット開発を支えるエコシステム~ROSを中心とした開発環境~

折からの人手不足に加えて、人と人の接触を極力減らさなければならなかったコロナ禍などにより、物流業界や飲食業界を中心にAGV(Automated Guided Vehicle)やAMR(Autonomous Mobile Robot)などの自律型移動ロボットの導入が進んでいます。工場などで利用されてきた産業用ロボットについても、柵などで囲む必要がなく人と協働できる協働ロボットの利用が広がっています。

近年、これらのロボット開発で広く採用されているのが「ROS(Robot Operating System)」です。ロボットのソフトウェア開発者向けに、ロボットアプリケーションの作成を支援するライブラリやツールを提供するロボット開発用のプラットフォームであり、オープンソースソフトウェアであることから一気に普及が進んできました。ROSを取り巻くミドルウェアや開発ボード、AI、センサーなどのエコシステムも充実し始めています。

本特集ではROSを中心としたオープンなロボット開発環境の活用によって、新たなロボットの開発につなげるためのヒントをお届けします。貴社の商品/ソリューション/ツール/サービスのPRの場としてご活用いただけますと幸いです。



ROS、組み込みLinux、リアルタイムOS、ロボット開発用ボード、画像AI、センサー、AGV、AMR、協働ロボット、自動運転技術 等等

(6) 製造業の倉庫・搬送のDX戦略

製造業において、高齢化・人手不足は喫緊の課題となっており、工場内での各工程の自動化や効率化を実現し、生産性を高めていく必要に迫られています。

中でも倉庫業務や搬送業務はなかなか自動化が進まず、人手による台車搬送や紙ベースでの業務などが残り続ける"取り残された領域"だと位置付けられています。しかし、この取り残された領域に白羽の矢を立て、デジタル技術活用し、自動倉庫の導入や搬送の自動化を実現した例が少しずつ増えてきており、今、製造業のなかで高い関心が集まっています。

本特集では、工場の倉庫・搬送業務の自動化を実現するテクノロジー・事例等にフォーカスします。倉庫・搬送業務の自動化・効率化を実現する貴社のソリューション/ツール/サービスを製造業のモノづくりに携わる多くの読者へ向けてPRの場としてご活用いただけますと幸いです。

キーワード

フリートマネジメントシステム、自動倉庫システム、自動搬送システム、ロボット制御システム、AGV、AMR、スマートコンベア、ピッキングロボット、マテハン機器 等

スポンサープラン

(3)製造現場で作れるデジタルアプリ開発 (4)製造現場のモバイル活用 (5)オープンなロボット開発を支えるエコシステム(6)製造業の倉庫・搬送のDX戦略

ご提供内容	プラチナ	ゴールド	シルバー
オンラインリード獲得 ・オンラインリード獲得 ・属性はセグメントなし	300件保証	150件保証	60件保証
コンテンツ			
タイアップ制作	1本	_	_
ホワイトペーパー制作	_	1本	_
ホワイトペーパーご支給 ※お手持ちのコンテンツをご用意ください	2本	1本	2本
スポンサー料金 (税別、グロス)	¥2,400,000 (140万円OFF)	¥1,200,000 (60万円OFF)	¥500,000 (20万円OFF)

■お申込み締切

プラチナ/ゴールドプラン:2023年9月6日(水)

シルバープラン: 2023年9月29日(金)

[※] ホワイトペーパーをお持ちでない場合、別途費用が発生しますが制作プランがありますので、担当営業までご相談ください。

[※] ブランのカスタマイズも可能です。担当営業までご相談ください。※ 企画開始後のご協賛も可能ですが、開始時期によりご提供できないメニューがある場合がございます。

(7) ビル・施設管理のDX~デジタル活用でビルメンテナンスに省力化を~

ビルの維持・管理・運用の現場では、若年入職者の減少や作業員の高齢化による人材不足の深刻化が進む一方、今後増加が予想される老朽化する建物への対応、さらにビルの省工ネ化や新たなオフィスの在り方の潮流を受け、スマートビルにも取り組むことが迫られています。さらに、建設業界には2024年4月1日から時間外労働の上限規制が適用されます。現場での働き方の改善は、待った無しの問題となっています。

これまで紙ベースでの業務フローやマンパワー頼りだった 管理業務を、デジタル技術を活用し、生産性・効率を高めて いく取り組みが不可欠になっています。

本特集では、ビル/施設管理のDXを実現するデジタル技術にフォーカスします。ビル/施設管理を担う各社を対象に、 貴社のソリューション/ツール/サービスをPRする絶好の場として、本特集をご活用いただけますと幸いです。



キーワード

(清掃、警備、など)ビルサービスロボット、モバイル・タブレット端末、設備/点検業務アプリセンシング、監視・モニタリング、ビルオートメーションシステム(BAS)、点検業務データベース

(8) 業務効率化ツールで実現する建設現場DX~図面、施工進捗など現場管理にデジタル変革を~

建設業界では、「現地屋外生産」「労働集約型生産」といった建設業の宿命ともいえる課題に加え、**2024年4月1日からは時間外労働の上限規制が適用**されるため、現場の省人化や省力化が待った無しの状況にあります。

これまで**紙ベースでの業務フローやマンパワー頼りで長時間労働の温床となっていた、図面管理や工程管理に代表される現場管理業務に、デジタル技術を活用し、業務効率化が不可欠**になっています。

本特集では、現場業務を省力化/省人化する現場管理アプリや情報共有 ツールにフォーカス。建設業の課題解決に取り組むゼネコンやサブコンなど 各社を対象に、貴社のソリューション/ツール/サービスをPRする絶好の場 として、本特集をご活用いただけますと幸いです。

キーワード

図面/写真管/施工管理アプリ、クラウド情報共有、施工品質管理、スケジュール管理、コミュニケーションアプリ/チャットツール、勤怠管理、報告書作成、黒板機能etc

過去実施の建設DX特集での実績

建設業の施工管理や設計職、情報システム関連職のリードを多数獲得

【TechFactoryでのリード納品実績】

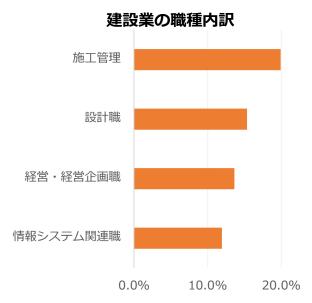


ゼネコン (総合建設業): 13.4%

その他建設業:6.1%

サブコン(専門建設業): 5.0%





会社名(一部抜粋) 大成建設株式会社 株式会社大林組 鹿島建設株式会社 株式会社竹中工務店 大和ハウス工業株式会社 西日本プラント工業株式会社 日比谷総合設備株式会社 千代田化丁建設株式会社 株式会社第一ヒューテック 株式会社綜合デザイン

スポンサープラン (7) ビル・施設管理のDX (8)業務効率化ツールで実現する建設現場DX

ご提供内容	プラチナ ゴールド		シルバー	
オンラインリード獲得 ・オンラインリード獲得 ・属性はセグメントなし	180件保証	120件保証	60件保証	
コンテンツ	コンテンツ			
タイアップ	1本	1本	_	
ホワイトペーパー提供 ※お手持ちのコンテンツを ご用意ください	2本	1本	2本	
スポンサー料金 (税別、グロス)	¥1,800,000 (116万円OFF)	¥1,400,000 (84万円OFF)	¥500,000 (32万円OFF)	

■お申込み締切

プラチナ/ゴールドプラン:2023年9月6日(水)

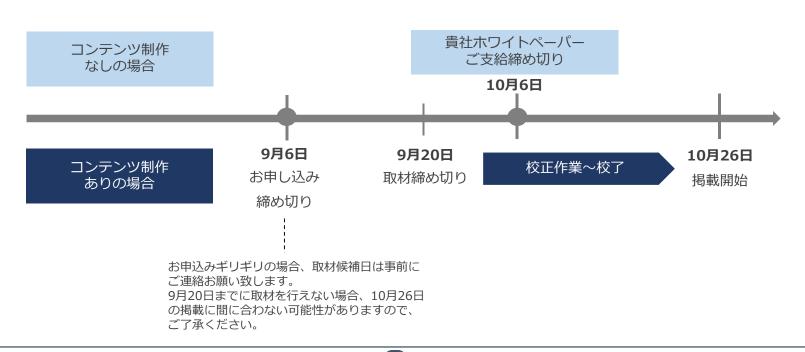
シルバープラン: 2023年9月29日(金)

[※] ホワイトペーパーをお持ちでない場合、別途費用が発生しますが制作プランがありますので、担当営業までご相談ください。

[※] ブランのカスタマイズも可能です。担当営業までご相談ください。※ 企画開始後のご協賛も可能ですが、開始時期によりご提供できないメニューがある場合がございます。

スケジュール

コンテンツ(タイアップ記事/ホワイトペーパー)制作の有無によって、お申し 込み締め切り日をはじめとした各種スケジュールが異なります。ご注意ください。



特集展開事例

製造業のモノづくりに関わる読者に向けて、メディア・メルマガを活用し、広く告知します

メディアから特集ページへ誘導



メルマガでの特集告知

==PR-【特集】ペーパレス化で実現するモノづくり現場の「働き方改革」 製造業の働き方改革に役立つペーパーレス化を特集します! ●特集はこちら● http://rd.itmedia.jp/5yIM 協賛:株式会社センシンロボティクス/株式会社スタディスト

==PR-【特集】DC-DC電源モジュール/最新の技術・製品を紹介! ●特集はこちら● http://rd.itmedia.jp/5zbq 協資: リチャードソン・アールエフピーディー・ジャパン株式会社 アナログ・デバイセズ株式会社

コンテンツ・ロゴ掲載



リード獲得用コンテンツ制作①タイアップ記事



編集部が企画、取材、編集を担当するタイアップ記事を制作いたします。 コンテンツの二次利用も可能です。

- 編集タイアップについて
 - 編集部が企画、取材、編集を担当するタイアップ記事広告です
 - 冒頭部分はだれでも閲覧でき、「続きを読む」でリードを獲得します
- ・ コンテンツ仕様
 - ページ数:1html
 - 文字数:4,000文字程度(うち、500文字程度が公開ページ掲載分)
 - 図版点数:3点まで(写真/イメージ図版主体)
 - 企画協力:あり取材有無:あり
- 備考
 - 取材から掲載までの期間は約17営業日となります
 - 原稿の校正はテキスト原稿、HTMLの各1回ずつを想定しており、校正の回数に応じて、公開までの日数は適宜変動いたします
 - 記事広告内に掲載するイメージ図版は貴社にてご用意下さい
 - 終了後も一部を除きコンテンツは掲載され続けます
 - タイアップ記事のPV、UBのレポートはございません
 - 遠方での取材や有識者のアサイン、特別な制作費(イラストなど)が発生する場合は、別途追加費用を申し受けます
 - 広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、以下費用が発生します
 - 初校の出し直し: ¥300,000、念校以降の修正: ¥100,000
- 二次利用について
 - 制作した記事広告の著作権は、当社および制作スタッフ(ライター、カメラマンなど)に帰属します
 - 本企画にて制作した記事広告は、改変がなければ無償で二次利用していただくことが可能です(ウェブ上での利用に限定、要出典表記)
 - 印刷物でのご利用は二次利用費が発生いたしますので、利用をご希望される場合は、担当営業までお問合わせ下さい
- オプション:カスタム記事パンフレット制作
 - 制作した編集タイアップ記事をPDFや印刷物でご利用いただける有料オプションもございます。詳細は担当営業までお問い合わせ下さい。



タイアップ記事制作イメージ (実際のデザインとは異なる場合がございます)

リード獲得用コンテンツ制作②ホワイトペーパー



貴社オリジナルのホワイトペーパーを制作します。コンテンツの二次利用も可能です。

ホワイトペーパーについて

弊社パートナーの編集プロダクションが取材・制作するPDFコンテンツです

コンテンツ仕様

ページ、文字数: 2ページ、約2,000文字

図版点数:2点まで

企画協力:ない(貴社ご記入のヒアリングシートをもとに取材)

取材有無:あり

デザイン/ファイル形式:指定フォーマット(左図)、PDF(Web解像度)

コンテンツ内容

セミナーレポートの取材は2セッションまでとなります

製品/サービス解説、導入事例は、それぞれ下記の4章構成となります。 導入事例

製品/サービス解説

1. 市場背景の解説

1. 導入企業紹介

2. 課題の提示

2. 導入企業が抱えていた課題

3. 選定理由、具体的な課題解決方法 3. 解決策の提示 4. 製品情報の紹介 4. 導入によって得られた成果

備考

ホワイトペーパーの取材、制作進行は編集プロダクションに委託しています

取材から掲載までの期間は約23営業日となります

ホワイトペーパーに掲載するイメージ図版、写真は貴社にてご用意下さい

リード収集終了後もコンテンツは掲載され続けます

遠方での取材となる場合は、交通費ならびに遠方取材費を申し受けます(Web会議は追加費用な) (※Web会議でのご対応が可能な場合は追加費用は発生いたしません)

製品/サービス解説、導入事例、セミナーレポート以外の企画をご希望の際はご相談下さい

●初校の出し直し:¥300,000、念校以降の修正:¥100,000

二次利用について

制作したホワイトペーパーは、ウェブ、印刷物問わず無償で二次利用していただけます。 (当社以外のメディアへの掲載はご遠慮いただけますと幸いです)



タのコントロールなど、DawS にも支援すべき課題が残さ となどである。しかし、セキュリティやライセンス、デー (Virtual Desktop Infrastructure) は、大きく異なると れている。*DaaS』 (Desktops as a Service) と「VDI」 思っている人もいるかもしれないが、両者には共通部分が (Virtual Desktop Infrastructure) は、大きく異なると

5人もいるかもしれないが、原名には共資部分が よわち、デスクトップ管理が簡素化されること。 : アの数を減らせること、柔軟性とモバイル性が ことなどである。 しかし、セキュリティやライセ タのコントロールなど、DauSにも支配すべき SHTUS.

> 5、デスクトップ管理が開業化されること、ハー D較を減らせること、柔軟性とモバイル性が向上 (ピアネス・1.61、セネッリティのライセンス コントロールなど、DaaSにも支配すべき課題が √5. (DasS: (Desktops as a Service) ≿

Jeskico Infrastructure) は、大きく異なると

となどである。しかし、ヤキュリティやライヤンス、デー 「VDI」(Virtual Desktop Infrastructure) は、大きく置な タのコントロールなど、DaaS にも克服すべき課題が残さ ると思っている人もいるかもしれないが、両者には共選部 2) TUB. (DasS) (Desktons as a Service) > (VD), 97/8U.

アメティメディア株式会社 #107-0002 #3905 K998-1-22 69K1 7 KN #PM-DOT TEL 03-6824-8093

THY COMMAN, WINCH, MICH. THIS, MERCHER, ADMINISTRY, MADDERS - MEMBERS AND APPORT. CTRACTORS

ITmedia

読者調査企画

- (9)設計・製造現場における品質管理
- (10)製造現場におけるデータ活用の実態調査 2023
- (11)設計者CAEの実情調査
- (12) 3Dプリンタ利用動向調査 2023
- (13) 「設計・解析業務におけるAI活用」に関する実態調査

読者調査企画のポイント

専門性・関心の高い読者・会員を巻き込んだ読者調査企画シリーズ



専門性・関心の高い読者・会員に誘導

調査テーマについての編集部による解説や、 関連する編集記事を掲載した特集ページを 開設し、MONOist/EE Times Japan/ EDN Japan上から本特集への誘導をかけま す。情報収集に熱心な読者にアプローチす ることができます。



調査結果をコンテンツ化 リード獲得&誘導に活用

読者調査の結果をレポート化。リード獲得 コンテンツとして活用し、ご協賛社様のコ ンテンツへの誘導としても活用いたしま す。



コンテンツ制作付き お得なプラン

本特集ならではの費用対効果を見込めるお 得なプランを用意しております。PRする絶 好の場として、本特集をご活用いただけま すと幸いです。

特集ページ構成



調査テーマ

調査結果レポートを掲載

読者調査の結果をレポートにし、コンテンツ化します。特集ページのトップに掲載し、 リード活用、ご協賛社様コンテンツへの誘導に活用いたします

ご協賛社様コンテンツ 誘導枠

特設PR枠を設置いたします。編集記者が制作したタイアップ記事、貴社製品・ソリューションに関するホワイトペーパーやご講演・デモ動画などを掲載いただけます

テーマに関連した記事を集約

MONOistに掲載の最新事例などを紹介した記事を掲載します

(例) 【掲載予定 記事】

- 新入社員が知っておくべき「製造業DX」の基本用語まとめ
- いま一度確認しておきたい、製造業DXで「結局何ができるのか」?

特集展開

メディア上/メルマガで誘導



関心・専門性の 高い会員を誘導

製造業のモノづくりに 関わる方を中心とする 専門メルマガやターゲ ティングメールで、特 集告知、貴社コンテン ツへ誘導いたします



リード納品

調査レポート閲覧者リード



ご協賛全社に 同一のリード を提供









ご協賛各社に 個別でご提供

貴社コンテンツ閲覧者リード

(9)「設計・製造現場における品質管理」 ~絶対的強み「品質と信頼」を取り戻す 設計・製造現場DX~

日本の製造業が大きな強みとしてきた「品質」。しかし、製造工程での不正や重大なインシデントの発生など、日本の製造業の品質管理の在り方を問う問題が頻発しています。

MONOistでは2023年1月31日にオンラインセミナー「転機を迎える製造業の品質と信頼」を開催し、視聴者アンケートを実施しましたが、「品質問題につながりかねないヒヤリとした経験がありますか」とした質問に対し「ある」と答えた回答者は6割以上となっています。また、その回答で、設計面でのヒヤリハットとして多く挙がったのは「図面による指示不足」や「作業や部材における想定不足」によるもので、紙ベースでの情報共有やアナログでのコミュニケーションミスなどが大きな問題となっています。

これらの日本の製造業の絶対的な強みである「品質」の信頼を回復していくには、従来のようにアナログベースのやり方だけではなく、今までのノウハウに加えて、AIなどの先進デジタル技術を活用した新たな手法や技術を導入していく必要があります。

本特集では、転換期を迎える製造業の品質課題を浮き彫りにすると同時に、品質問題の解決や持続的な品質向上の実現に向けての製造現場での具体的な取り組みや、コミュニケーションの実態、デジタル技術の活用状況などを調査いたします。

「設計・製造現場における品質管理」アンケート項目(抜粋)

現在あなたが品質に関連して課題だと考えていることがあればお 選びください(複数回答可)。

- □ 設計技術者のスキルレベルの低下/品質技術の伝承
- □ 作業が属人化し過ぎている
- □ 短納期での設計・開発
- □ イレギュラーな設計変更の頻発
- □ 急な生産場所の変更
- □ データ連携不足(エレ⇔メカ連携不足、設計⇔データ連携不足など)
- □ ワークフローの問題(チェック機能の不備など)
- 非効率/低品質な試作・検証
- □ ツール間連携/データ変換でのミス
- □ 製造設備の問題(生産能力/老朽化など)
- □ 組織的なコミュニケーションの問題(部門内、部門間)
- □ 工数不足
- □ 特にない
- その他

会社全体としてもしくは設計開発部門として「品質」を確保する ために、どういう取り組みを行っていますか(複数回答可)。

- ISO9000シリーズの取得
- □ 設計工程の標準化と手法の確立(フロントローディング、エレ⇔メカ連携の強化など)
- □ データ連携/データー元管理の推進・整備
- □ 試作・検証の効率化
- □ 定期的な部門間コミュニケーション(企画、製造部門との連携)
- □ 設計部門内における「品質」に対する教育体制の整備
- □ 品質確保に貢献するICTツールの活用
- □ 作業工程の見える化
- □ 新たな製造設備の導入/リプレイス
- 製造設備の保全体制の改善
- □ サプライチェーンのリスクマネジメント
- □ 特にない
- その他

会社全体としてもしくは設計開発部門として「品質」を確保するために、どういう取り組みを「今後行うべき」だと考えますか(複数回答可)。

- □ 設計工程の標準化と手法の確立 (フロントローディング、エレ⇔メカ連携の強化など)
- 試作・検証の効率化
- □ 定期的な部門間コミュニケーション(企画、製造部門との連携)
- □ 設計部門内における「品質」に対する教育体制の整備
- □ 品質確保に貢献するICTツールの活用
- □ 作業工程の見える化
- 新たな製造設備の導入/リプレイス
- 製造設備の保全体制の改善
- サプライチェーンのリスクマネジメント
- □ その他

品質問題に対して効果があると考えるICTツールをお選びください(複数回答可)。

- □ 3DCAD
- □ 3Dプリンタ
- □ CAE (シミュレーション)
- □ 3Dビュワー/レビューツール
- データ連携ツール
- PLM (製品ライフサイクル管理) システム
- □ SLM (サービスライフサイクル管理) システム (サービス部門からのフィードバック)
- □ 文書管理ツール (技術伝承およびノウハウ共有)
- BI (ビジネスインテリジェンス) ツール (データの見える化)
- □ ビッグデータ分析ツール
- □ IoTプラットフォーム
- □ クラウドストレージ (box、Dropbox、Onedrive、Google Driveなど)
- □ AI画像検査
- AR/VR/MR
- □ AI
- □ 設備稼働状況のデジタル化ツール
- センシングデバイス
- □ ウェアラブルデバイス (スマートグラス、スマートウオッチなど)
- モバイルデバイス (iPadなどのタブレット端末)
- □ □ボット (協働型など)
- □ トレーサビリティツール□ 試作支援サービス
- □ 効果があると考えるICTソールはない
- その他

※アンケートの設問は、予告なく変更となる場合がございます

(10)「製造現場におけるデータ活用の実態調査 2023」

熟練工の不足や人手不足は、製造業にとって喫緊の課題で、課題解決のため IoTなどのデジタル技術の活用により、生産性を向上する取り組みが増えています。特に製造現場の見える化によるデータ活用には高い期待が寄せられています。しかし、なかなか有効なデータ活用ができていないのが現状です。

本調査では、製造業のモノづくりに従事する方を対象に、製造現場でのデータ活用の実態調査を実施いたします。データ活用の取り組みの状況や、データ活用に期待する成果、対象範囲/規模感、など現場でのデータ活用の実情を調査いたします。

また、データを活用し成果を得るための課題感を、データの収集・蓄積→分析・活用などの各フェーズごとに調査することで、製造現場におけるデータ活用のリアルな課題、現状を浮き彫りにします。

「製造現場におけるデータ活用の実態調査」アンケート項目(抜粋)

■製造現場におけるデータ活用の主な目的・期待する成果について教えてください。

生産性の向上

品質の向上

コスト削減

不良品口スの削減

白動化

標準化

トレーサビリティーの確保

働き方改革

技術伝承

省人化

人的ミスの軽減

人手不足の解消

需要予測

稼働状況の見える化

ボトルネック工程の特定

故障予知

不良予測

ラインやロボットの制御/最適化

デジタルツインの実現

ペーパレス化

省エネエコ

作業者の安全確保/事故防止

丁場運営の最適化

経営スピード (意思決定)

分からない、その他()

■製造現場におけるデータ活用について、データの収集・集積において課題と感じていることを教えてください。

集めるベきデータの選定方法が分からない

どのようにデータを収集すべきかが分からない

IoT・センシング機器など、データ収集システムの導入コストが高い

集めたデータの保存先・保存方法の選定セキュアなデータ管理・セキュリティ対策

データ収集に必要な工場内ネットワークの構築

装置や設備が古くてデータを取得できない 設備や機器ごとに通信プロトコルが異なる点

設備や機器ごとにデータ項目/フォーマットが異なる点

データ同士の関係性やつながりの理解

分からない、その他()

■製造現場におけるデータ活用で成果を出す/期待する効果を得るために必要だと思うことは何ですか?

組織全体として取り組むこと

目的意識の共有/ゴール設定

関係者との合意

経営層の理解と協力

予算の確保

専門チームなどの体制整備

情報システム部門との連携

ルール作り

装置や設備の刷新

設備や機器ごとに異なる通信プロトコルをつなげる仕組み

設備や機器ごとに異なるデータ項目/フォーマットの整備

ネットワーク環境の整備/構築

SIerやコンサルタントなどの外部の協力

効率的なデータ収集

ヤキュアなデータ管理

AIなどを活用した高度な分析

データサイエンティストなどの専門家/人材

エッジコンピューティングなどの導入

BIツールなどの導入

システム導入/構築

外部のITソリューションやIoTプラットフォームなどの活用

PoCの実施/検証

小さな成功を積み重ねる

クラウドの活用

ヤキュリティ対策

分からない、その他()

※アンケートの設問は、予告なく変更となる場合がございます

(11)「設計者CAEの実情調査」

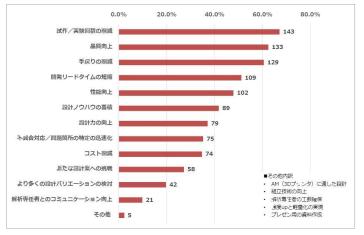
市場環境の変化、顧客ニーズの多様化により、製品開発はより一層複雑さをましています。そのような中、品質向上、コスト削減、開発リードタイムの短縮なども求められており、製品開発の現場では 3D CADやCAEといったデジタルツールを活用したフロントローディングの取り組みがこれまで以上に重要になっています。

とりわけ設計と解析のサイクルを密に素早く回して、実験や試作の回数、手戻りを削減し、設計品質や性能をバーチャル上で追求する「設計者CAE」の実践は欠かせません。また近年では、地球環境に配慮した製品開発、脱プラスチックへの対応も迫られており、製品開発

の上流工程(設計プロセス)におけるシミュレーション活用の 重要性が高まっているといえます。

本企画では、製造業の製品開発に携わるエンジニアを対象に、 自社における設計者CAEの実施状況やその成果、取り組みを進め る上での課題感などについて調査するとともに、設計者CAEの 実践、3D CADやCAEをはじめとするデジタルツールの活用に 関心の高い読者に向けて、貴社ソリューション/ツール/サー ビスをPRする場をご提供いたします。

Q.設計者CAEの実践で期待する効果は何ですか?



「設計者CAEの実情調査」アンケート項目(抜粋)

■設計者自身が行っている主な解析の内容(種類)について教えてください。 「複数選択可」

応力解析 振動解析 熱伝導解析 流体解析 機構解析 電階流解析 音響落下解析 音突落下解析 その他())

■設計者CAEの実践で期待する効果は何ですか?「複数選択可】

品質向上 性能向上 コスト削減 開発リードタイムの短縮 試作/実験回数の削減 手戻りの削減 不具合対応/問題箇所の特定の迅速化 設計力の向上 設計力ウバウの蓄積 解析専任者とのコミュニケーション向上 新たな設計案への挑戦 より多くの設計バリエーションの検討 その他()

■設計者CAEの実践により得られた効果の満足度について教えてください。

期待以上の成果を得ている 期待通りの成果を得ている どちらとも言えない 期待していたよりも成果が小さい 全く成果を感じられない 分からない

■設計者CAEに求められるツール要件について教えてください。 [複数選択可]

頭操作性/使い勝手の良さ 3D CADとの連携性 パフォーマンス/計算スピード 安定性 豊富なソルバーを備えている 解析結果の比較/検討のしやすさ 解析条件や解析結果の蓄積/共有のしやすさ 解析専任者向けCAEとの連携性 充実したヘルプ機能 ガイダンスやアシスタント機能 クラウドコンピューティング AI/機械学習などを用いた結果予測機能 ツールベンダーのサポートカ 安価なライセンス費用 柔軟なライセンス形態 その他 ()

(12)「3Dプリンタ利用動向調査 2023」

製造業の設計職や開発職など、モノづくりに従事する方を対象に「3Dプリンタの利用動向調査」を実施いたします。3Dプリンタの導入有無や設置台数、主な造形方式、主要用途など、具体的な3Dプリンタの利用状況を調査するとともに、現在使用中の3Dプリンタに関する満足度や新規導入・追加導入の予定などについても詳しく調査します。

併せて、3Dプリンタの導入・活用で期待することや、3Dプリンタ活用における課題など、製品開発現場の"生の声"を聞くことで、「3Dプリンタ活用の今」を徹底的に深掘りいたします。設計・製造現場における3Dプリンタ活用の"リアルな実態"を捉える本調査が、日本の製造業における3Dプリンタのさらなる普及・活用促進の一助になれば幸いです。

「3Dプリンタ利用動向調査」アンケート項目(抜粋)

■主にどのような用途で3Dプリンタを活用していますか?

形状・デザイン試作

機能・原理試作

研究開発

性能・評価試験

「型」の製造

治具/補助工具製造

最終製品に使用される一部のパーツ製造

最終製品の製造 その他()

■3Dプリンタの導入・活用で期待することを教えてください。 [複数選択可]

試作の効率化

試作の外注コスト削減

デザインレビューの効率化

色彩や高い表現力

デザイン性の追求

新たな形状の検討

開発スピードの向上

評価・試験の効率化

品質の向上

部品の性能向上

部品の軽量化

部品点数の削減

部品・材料コストの削減

部品製作の内製化

治具製作の内製化

金型レス

マスカスタマイゼーション

多品種少量生産

大量牛産

競合他社との差別化・競争力の強化

```
サプライチェーンリスクの低減
```

その他()

■3Dプリンタの課題について教えてください。 [複数選択可]

装置の価格

材料の価格

設置場所の確保

稼働率

用途開発 (何に使う・どこに使うなど)

造形スピード/造形時間

造形時の安定性

造形物の品質・精度

造形サイズ

大量生産への対応

使用可能な材料のバリエーション

造形品の耐久性などの性能

色の再現性や表現力

3Dデータの作成・準備

前処理の手間

後処理の手間

メーカーのサポート体制

メンテナンス・保守のコストや手間

付帯設備が必要なこと

その他()

■今後、3Dプリンタを新規導入・追加導入する予定はありますか?

ある(1~3カ月以内)

ある(半年以内)

ある(1年以内)

ある(数年以内)

検討中ない

分からない

※アンケートの設問は、予告なく変更となる場合がございます

(13) 「設計・解析業務におけるAI活用」に関する実態調査

製造業の設計・解析業務に従事する方を対象に、業務でのAI活用に関する調査を実施します。AI技術へ期待することや、AI技術を活用するうえでの課題などについてアンケートします。

また、「AIは設計者の仕事を奪う存在か?」などAI技術への本音や、AI技術を活用する際に提供される形式(CADルツールなどに組み込まれた形、独立系のソフトウェアなど)についても調査を実施。設計・解析業務に携わるエンジニアのAI活用への本音とリアルな現状を浮き彫りにします。

「設計・解析業務におけるAI活用」アンケート項目(抜粋)

■設計・解析業務の中で、AI技術がどのように役立つとお考えですか? [複数回答可]

設計作業の支援/アシスト

設計作業の自動化

流用設計の効率化

設計上のミスの軽減

設計品質のチェック

設計者CAEの活用促進

設計案 (アイデア) の提示

コンピュータによる形状生成/最適化

解析時間の短縮

解析業務の自動化

解析結果の予測/分析

相反する要求/性能の実現(軽量化と剛性向上など)

設計・解析データ管理の効率化

設計・解析データへのアクセス性向上

材料使用量の削減

部品点数の削減

技術伝承問題の解決

働き方改革の実現

設計・解析スキルの向上

教育/人材育成の促進

業務上の疑問や質問に対する回答/アドバイス

CAD/CAEツールの一機能として組み込まれた状態での提供

思いつかない

その他 [フリー回答]

■AIを設計・解析業務で活用する際、どのような形で提供されるのが望ましいと考えますか?

独立したAI専用ソフトウェアとしての提供 設計周辺の支援ソフトウェア(CAD/CAEを除く)としてパッケージされた形での提供

■設計・解析業務でAI技術を導入する/導入を検討する上で、課題だと思うことは何ですか?「複数回答可」

AI関連の技術やスキル不足

AI関連の人材リソース不足

時間確保

予算確保

社内に旗振り役/推進リーダーがいない

経営層の理解

現場の理解

投資対効果の証明が難しい

組織や体制の整備

運用ルールの策定

著作権侵害などのリスク

ワークフローの見直し

AIの信頼性/精度

学習データの蓄積

クラウドの活用

ハードウェア/ソフトウェアなどの環境構築

導入を支援してくれるパートナーがいない

どういったソリューションを選定してよいか分からない

設計・解析業務でのAI活用事例/成功事例が少ない

進め方/取り組み方が分からない

思いつかない

その他「フリー回答]

■AI技術は設計者/解析専任者の「仕事を奪う」存在だと思いますか?

そうは思わない

そう思う

分からない

※アンケートの設問は、予告なく変更となる場合がございま

す

スポンサープラン

(9)設計・製造現場における品質管理(10)製造現場におけるデータ活用の実態 調査 2023(11)設計者CAEの実情調査(12) 3Dプリンタ利用動向調査 2023

	プラチナプラン	ゴールドプラン	シルバープラン
	¥2,800,000 (150万円OFF) お得なタイアップ記事制作プラン	¥1,800,000 (80万円OFF) ^{効率のいいリード獲得ブラン}	¥500,000 (50万円OFF) コンテンツのご用意不要
ご提供リード数 ・セグメント条件の設定はありません ・調査レポート閲覧者リード、貴社コンテンツ閲覧者リード 間の重複はありません	350件保証	250件保証	100件保証
内訳①:調査レポート閲覧者リード ・協賛全社に同一リードを提供します ・個別パーミッション設定できません	100件	100件	100件
内訳②:貴社コンテンツ閲覧者リード ・各プランに記載のコンテンツをご用意下さい	250件	150件	_
コンテンツ数	2本	2本	_
タイアップ記事制作	1本	_	_
ホワイトペーパーご支給 ※お手持ちのコンテンツをご用意ください	1本	2本	_

■お申込み締切

プラチナプラン:2023年9月8日(金)

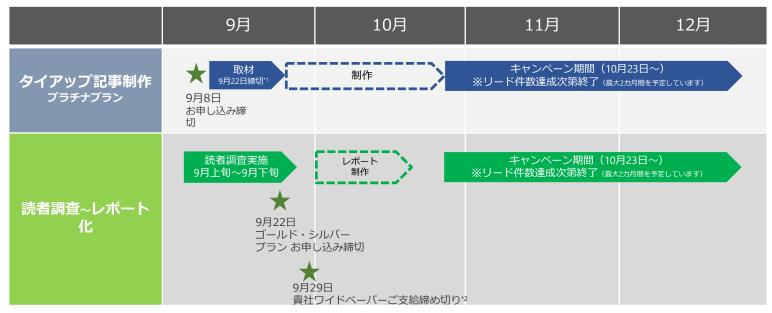
ゴールド/シルバープラン:2023年9月22日(金)

- 料金は税別、グロスです。
- ※ ホワイトペーパーをお持ちでない場合、別途費用が発生しますが制作プランがありますので、担当営業までご相談ください。
- プランのカスタマイズも可能です。担当営業までご相談ください。
- ※ ※ご協賛状況により、実施見合わせとなる可能性がありますので、予めご了承ください。

スケジュール

(9)設計・製造現場における品質管理(10)製造現場におけるデータ活用の実態 調査 2023(11)設計者CAEの実情調査(12) 3Dプリンタ利用動向調査 2023

ご協賛プラン(タイアップ記事制作/ホワイトペーパーご支給)によって、お申し込み締め切り日をはじめとした各種スケジュールが異なります。ご注意ください。



- *1 お申し込み締切間近でのご協賛の場合、取材候補日は事前にご連絡お願い致します。9月22日までに取材を行えない場合、10月23日の掲載に間に合わない可能性がありますので、ご了承ください。
- *2 貴社ホワイトペーパーを9月29日までにご支給いただけない場合、 10月23日の掲載に間に合わない可能性がありますので、ご了承ください。
- ※ 読者調査の回答状況により、キャンペーン日程が変更になる可能性がございますので、ご了承ください。

スポンサープラン (13)「設計・解析業務におけるAI活用」に関する実態調査

	プラチナプラン ¥2,800,000 (150万円OFF) お得なタイアップ記事制作プラン	ゴールドプラン ¥1,800,000 (80万円OFF) 効率のいいリード獲得プラン	シルバープラン ¥500,000 (50万円OFF) コンテンツのご用意不要
ご提供リード数 ・セグメント条件の設定はありません ・調査レボート閲覧者リード、貴社コンテンツ閲覧者リード 間の重複はありません	350件保証	250件保証	100件保証
内訳①:調査レポート閲覧者リード ・協賛全社に同ーリードを提供します ・個別パーミッション設定できません	100件	100件	100件
内訳②:貴社コンテンツ閲覧者リード ・各プランに記載のコンテンツをご用意下さい	250件	150件	_
コンテンツ数	2本	2本	_
タイアップ記事制作	1本	_	_
ホワイトペーパーご支給 ※お手持ちのコンテンツをご用意ください	1本	2本	_

■お申込み締切

プラチナプラン:2023年10月13日(金)

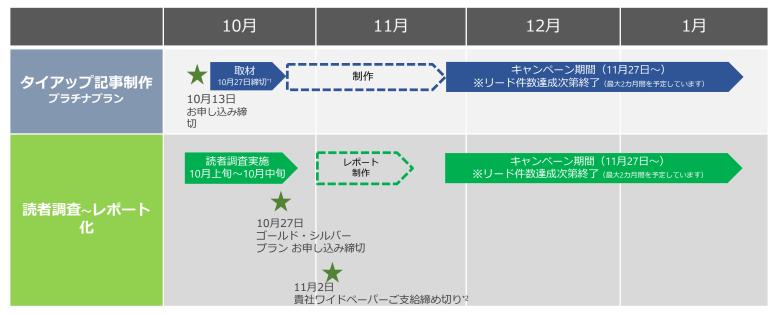
ゴールド/シルバープラン:2023年10月27日(金)

- ※ 料金は税別、グロスです。
- ※ ホワイトペーパーをお持ちでない場合、別途費用が発生しますが制作プランがありますので、担当営業までご相談ください。
- ※ プランのカスタマイズも可能です。担当営業までご相談ください。
- ※ ご協賛状況により、実施見合わせとなる可能性がありますので、予めご了承ください。

スケジュール

(13)「設計・解析業務におけるAI活用」に関する実態調査

ご協賛プラン(タイアップ記事制作/ホワイトペーパーご支給)によって、お申し込み締め切り日をはじめとした各種スケジュールが異なります。ご注意ください。



- *1 お申し込み締切間近でのご協賛の場合、取材候補日は事前にご連絡お願い致します。10月27日までに取材を行えない場合、11月27日の掲載に間に合わない可能性がありますので、ご了承ください。
- *2 貴社ホワイトペーパーを11月2日までにご支給いただけない場合、11月27日の掲載に間に合わない可能性がありますので、ご了承ください。
- ※ 読者調査の回答状況により、キャンペーン日程が変更になる可能性がございますので、ご了承ください。

調査レポートでのリード獲得について

調査レポートを閲覧したテーマに関心の高い会員のリードを獲得

調査レポートを閲覧する = 何かしらの課題意識を持って情報収集を行っていると考えられます。特定のプランにご協賛いただくと、PDF版の調査レポートを閲覧した、テーマに関心の高い会員のリード情報をご提供します。



キャンセル規定

広告商品の発注書受領後、広告主様のご都合でキャンセルを行う場合は、下記の料率でキャンセル料を申し受けます。

商品			キャンセル料金	主な対象商品(下記以外の商品はお問合せ下さい)
ディスプレイ広告、	ディスプレイ広告、メール広告、クリック保証広告		入稿締切期日まで:50% / 入稿締切期日以降:100%	各種ディスプレイ広告、メール広告、クリック保証広告
記事企画 Special(初校提出前まで:広告料金(制作費、掲載費、誘導費を含む一式)の50% 初校提出以降:広告料金(制作費、掲載費、誘導費を含む一式)の100% 期間保証型ター		期間保証型タイアップ、PV保証型タイアップ	
		リード獲得	キャンペーン開始前まで:広告料金(基本料金+リード料金)の50% キャンペーン開始後:広告料金(基本料金+リード料金)の100%	LeadGen. Basic / Segment
	件数保証型	制作オプション	初校提出前まで:広告料金(制作料金)の50% / 初校提出以降:広告料金(制作料金)の100%	LG. Segment オプション 編集タイアップ制作、ホワイトペーパー制作
リードジェン		その他オプション	キャンペーン開始前まで:広告料金 (オプション料金) の50% キャンペーン開始後:広告料金 (オプション料金) の100%	LG. Segment オプション アンケートカスタマイズ、テレマーケティング
	#088/Datail	ホワイトペーパー	キャンペーン開始前まで:広告料金の50% / キャンペーン開始後:広告料金の100%	TechFactory 期間保証型LGサービス
	期間保証型	タイアップ	初校提出前まで:広告料金の50% / 初校提出以降:広告料金の100%	TechFactory 期間保証型LGサービス
	長期リード獲得サービス		申込み金額の半額費消まで:広告料金(リード料金)の50%/申込み金額の半額費消以降:なし	LeadGen. Segment 長期利用プラン
	集合型セミナー		開催日の41日前まで:広告料金の50% / 開催日の40日以内:広告料金の100%	アイティメディア主催セミナー スポンサープラン
	成果課金型集客サービス		集客開始(初回メール配信)まで:最低実施料金の50% / 集客開始後:最低実施料金の100%	成果課金型集客サービス
セミナー	受託セミナー		・開催日の41日前まで:50% ・開催日の40日以内:100% ただし、上記キャンセル料を超える実費(会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など)が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。	受託セミナー、Webセミナーサービス
	ABMレポート		初回提供まで:広告料金の50% / 初回提供以降:広告料金の100%	ABMレポート、ABMレポートオプション
	カスタム記事パンフレット、抜き刷り		初校提出前まで:広告料金の50% / 初校提出以降:広告料金の100%	カスタム記事パンフレット、抜き刷り
その他	動画制作		収録3営業日前以降:広告料金の100%	動画制作
	マーケットリサーチ		回答収集開始前まで:広告料金の50% / 回答収集開始後:広告料金の100%	マーケットリサーチ



お問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部

Mail: sales@ml.itmedia.co.jp

会員プロフィールや特集予定、お問い合せはこちら http://corp.itmedia.co.jp/ad/